

3 地域のちからおこし

近年、県内においても、コミュニティをベースにしたビジネスや、地域のネットワークによる子育て支援などの取り組みが行われるようになってきました。

ここでは、地域が持っている“ちから”（資源や人材）を活用した取り組みの事例を紹介します。

(1) 福祉コミュニティビジネスの普及

県内でも高齢者によるおふくろ料理、婦人会による地域資源を活用した物産品など、地域に応じた活動が行われています。

ここでは、地域の課題（介護、育児、家事支援）をビジネスチャンスとして捉え、地域住民が地域に眠っている資源（労働力、経験、技術力）を活用し、地域の需要を満たし、地域活性化につながっているような事例を紹介します。

障害者と健常者のふれあいの場「タプリエ」

～NPO法人アイ・ネットワーク・くまもと（熊本市）～

（株）エブリワンが経営する地域コミュニティスーパー「タプリエ」に、アイ・ネットワーク・くまもとが、障害者の雇用面やコミュニティサービス面で協働しています。

タプリエでは、身体障害者をレジ係や事務職に雇用。パンや惣菜の製造で、知的障害者の雇用も検討中です。

また、タプリエに隣接する「ナイスハートショップくまもと」には、県内の授産施設等で障害を持つ方々が心を込めて製作した様々な商品が所狭しと並んでいます。ここでは、クリーニングサービス、UD名刺の作成や展示プリントなどの印刷サービス、福祉用具のレンタルなども行っています。

地域住民のふれあいの場であるコミュニティホールも併設されており、地域住民の子育て、福祉、健康などについての相談等を行っています。高齢者のふれあいきいきサロンや文化サークル等の各種イベントも開催することができ、地域住民のふれあいの場所として利用されています。



【障害者施設で丹誠込めて栽培された野菜の販売】
(ナイスハートショップ)

アンテナショップ「うなり茶屋」 ～一の宮町商工会～

阿蘇神社前商店街の空き店舗を利用した福祉コミュニティ施設「うなり茶屋」が、平成15年3月にオープンしました。

ちなみに「うなり」とは、阿蘇神社のおんだ祭に登場する、神への供物を頭にのせ田圃を歩く白装束の女性達のことです。

【サービスの内容】

- ① 商品販売ゾーン
- ② 飲食ゾーン
- ③ コミュニティゾーン
- ④ 体験ゾーン

【サービスプラス1】

- ① UDマップ、UD電子マップの作成
- ② UDガイドブックの作成



【うなり茶屋】



食改善グループと連携した安心配食サービス ～藍の餅さわやか会(天草町)～

地域ぐるみの在宅福祉の充実を目指して天草町社協とタイアップしながら配食サービスを実施しています。

食事調整が困難な高齢者に対し、食生活改善推進協議会と連携し栄養バランスのとれた「さわやかランチ」を提供し、訪問時に安否確認を行っています。

対象者 → 地域内の70歳以上の一人暮らし高齢者

利用日 → 第1、3木曜日の昼食(9月～5月)

利用料 → 1食300円

【サービスプラス1】

- ① ミニいきいきサロン
- ② 閉じこもり、虚弱な方への友愛訪問



「身体」と「心」に優しいお弁当をお届け！

～NPO法人やつしろ配食サービスワーカーズバセリ(八代市)～

バセリ(会員数20名)では、高齢・障害・介護・出産等で食事づくりに困っている世帯に、月曜日
から土曜日の昼と夕方に手作りのお弁当をお届けしています。

お弁当は、栄養バランスに配慮してあるのはもちろんのこと、食材も地元八代産や産地直送の
安全で新鮮なものを使用するなどこだわりをもっています。

お弁当を直接手渡すことにより、高齢者の方の安否確認も行っており、配食サービスを通して
高齢者の在宅生活の支援や地域のコミュニケーションづくりにも一役かっています。

現在、昼食だけで平均1日60食、夕食になると100食を配達しており、今後は、糖尿病食や減塩
食への取組みや、365日営業に近づけることを目標としています。



メニュー → ご飯付き普通盛り(昼食・夕食)

ご飯付き小盛(昼食・夕食)

ご飯なしおかず(昼食・夕食)

ご飯付ききざみ食(昼食・夕食)

利用料 → 1食当たり550円～650円

(配達料込)

メニュー及び昼・夕で料金が異なる

会員制で入会金2,000円

(利用会員585名)

休日 → 日曜日と毎月第1水曜日

配達区域 → 八代市、千丁町、坂本村、鏡町の一部

ふれあいランチで地域交流の輪 ～池田校区地域福祉委員会(熊本市)～

高齢化率が熊本市平均よりも高い池田校区では、福祉のまちづくりを目指して、住民ボラン
ティアによる手作りランチ(名称はランチとなっていますが、実際は夕食)を地区の高齢者・障害者
に宅配しています。毎回似たような味にならないよう、メニューを工夫しており、利用者にもおい
しいと好評です。

宅配によるふれあいも重要な役割です。この活動は平成3年より継続していますが、過去には
家の中で動けなくなっていた高齢者を発見したこともあります。

また、池田小学校の生徒が弁当の宅配を行うこともあり、高齢者と子どもの世代間交流にもつ
ながっています。

必要なサービスを!生活支援センターささえあい

～NPO法人地域たすけあいの会(玉名市)～

毎日の生活の中でいろいろな「困っている」という声に応え、赤ちゃんからお年寄りまで誰でもどんなときでも必要なサービスを提供しています。

【スタッフの声】

「支える人支えられる人がいるのではなく、誰でも安心して地域の中で暮らしていけるサポート(サービス)をしていきたいという想いで、今自分たちに何が出来るかをいつも考え活動しています。」

【サービスの内容】

① 介護保険のホームヘルプサービス

② ホームヘルパー養成研修(2級)

年3回開催、受講料50,000円

③ 高齢者、障害者、子ども等のミニデイサービス

利用時間9:00～16:00。年中無休。利用料は要相談。

④ 高齢者や障害者への生活支援や食事宅配(昼、夕)

申込先は玉名市。利用料 → 月曜日～金曜日(300円)、土(500円)

⑤ 子育て支援

・乳幼児の一時保育

利用時間 → 9:00～15:00。利用料 → 1日2,000円。乳児保育は要相談。

・出張託児

365日・24時間。利用料 → 1時間700円。交通費20円/km。

・託児(預かり)サービス

利用料 → 2,000円/回(9:00～15:00)。15:00以降は800円/時間、24時間体制応相談。

・学童保育

利用時間 → 下校時～18:30(平日)、8:30～16:30(土曜日)

利用料 → 保育料月額7,000円、入所費用5,000円、給食費(1食)400円

・ナイト保育・フリースクール

時間、料金及びサービス内容については、要相談。



22h
料理はうまがはい



気配り・目配りの生活支援 ～NPO法人楠木たすけあい(楠木町)～

「後ろ盾ない、お金ない、何も無いの3ない主婦」が三人、3万円ずつお金を出して、楠木町を拠点に、高齢者や障害者の方のお手伝いをしようと集まったのが始まりです。

生活の中のちょっとしたこと(ニーズ)が、ちょっとしたことからこそ、これまで見落とされてきており、気配り、目配りできめ細かな支援を行っています。

【サービスの内容】

① 高齢者・障害者家庭の家事援助

掃除、洗濯、調理、草取り、ガラス拭き、買い物、墓掃除等を、利用会員と活動会員との助け合い組織でやっています。

② 高齢者・障害者の外出支援、病院付き添い

福祉車両で車椅子のまま送迎し、ボランティアが付き添いますので、利用者も安心して外出させています。

③ 入院中の方への洗濯サービス

一人暮らしやいろいろな理由で家族が洗濯に向けない方のために洗濯サービスをしています。



【保育園の発表会の衣装を
縫っているところ(豊田の家)】

④ ミニデイサービス「豊田の家」

豊田の家は空き店舗を改修して、ミニデイサービスの場として利用しています。午前中は血圧測定や体操、午後はトランプをしたり歌をうたったり、何かを作ったりして過ごしています。声を出して笑うのがうれしいと参加者には好評です。

「困った時はお互い様」生活支援 ～たすけあいワーカーズ「イルカ」(本渡市)～

住み慣れたところで安心して子どもを産み育て、老いていくことができるやさしいまちづくりを目指して、「困った時はお互い様」という気持ちで、毎日の暮らしに必要な手助けを行っています。

【サービスの内容】

① 家事に関すること(屋内外の掃除・洗濯・補修、食事の準備、生活必需品の買物等)

② 保育に関すること(子どもの世話、託児)

③ 話し相手等

④ 送迎(病院・通院への介助、買い物の付き添い、幼稚園・保育園等の送迎)

利用料 → ○1時間1,100円…月曜日～金曜日(9:00～17:00)

○1時間1,300円…月曜日～金曜日の時間外(6:00～9:00, 17:00～22:00)

土曜日、祝祭日、お盆

○1時間1,500円…深夜、年始年末

※交通費…事務所からご自宅までの距離×20円×往復

ニーズに応じたサービスの創造 ～NPO法人長寿会(長洲町)～

高齢者等の在宅生活が安心して維持できるよう、ニーズに応え、またニーズに応じたサービスをつくり出し支援しています。

高齢者、障害者(児)、乳幼児など、在宅で介護・養育されている家族の負担を軽減、またはリフレッシュするため、家族に代わって、配食、通院介助、買い物同行等のお世話をします。

岱明町及び長洲町の2ヶ所で運営しています。

【サービスの内容】

① 日帰り介護(泊まり可)

利用時間 → 24時間対応(毎日)

利用料金 → 障害児、乳幼児(4時間以内1,000円) 高齢者(4時間以内1,500円)

② 買い物同行、通院介助

利用時間 → 9:00～18:00(毎日)

利用料金 → 1,000円/時間

③ 配食サービス

配達時間 → 月～金曜日の16:30～17:30(夕食)

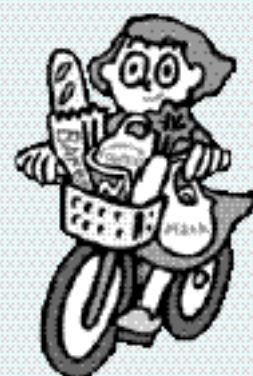
利用料金 → 1食450円(お吸い物付)

*近隣地域対象(配達料無料)



にしきあったか便「買い物代行」 ～錦町商工会有志～

高齢者や子育て中の人、交通手段が乏しい人など、買い物に不便を感じられている人を対象に買い物代行サービスを行っています。



家にいながら楽々お買い物 ～一の宮町商工会～

一の宮町商工会では、高齢者や障害者の買い物注文をファックスで受け、商店に商品を発注して配達までを手配する「一の宮町御用聞きコミュニティシステム」を行っています。

使用するファックスは商工会から貸し出すほか、ファックス操作方法の説明から使用する注文書の手配まで、商工会がすべて手助けしてくれます。また、配達由各商店が当番制で行っており、お互いに顔の見えるふれあいにつながっています。

「生涯現役」で日本一の一寸ソラマメ生産

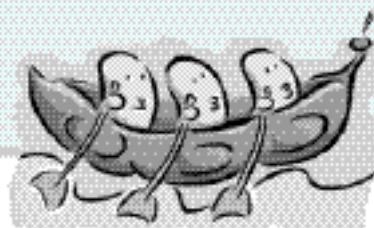
～JAたまな一寸ソラマメ部会(玉名市)～

玉名地域では、高齢者の農業従事者が多いため、軽作業で初期投資の少ない作物の導入が必要となり、価格も比較的安定している一寸ソラマメを導入することになりました。

この一寸ソラマメの生産活動が、仲間づくりと健康づくりに良い影響を与え、今では生きがいを感じて生涯現役で続けたいと思う高齢者が増えています。

また、品質、販売単価ともに日本一を誇っており、安定した収入が得られています。

近年、定年退職した人もこの生産活動に参加しています。



婦人会による地元の農産物や食文化を活かした地域づくり

～農事組合法人下村婦人会市房漬加工組合(湯前町)～

話し合える場を作り、生活レベルを向上することを目的として昭和24年設立。

当初は100円ずつ持ち寄り生活改善講座を開催したり、八工たたきなどを作っては売り歩き、収益を得ていました。

その後、漬物「市房漬」を開発。材料はすべて会員の手で生産したものを使用し、手作り与健康にこだわり、おふくろの味を心を込めて作っており、県内外のデパート等とも商品の取引をしています。

下村婦人会の活動や商品は、地域づくり国土庁長官賞や農林水産大臣賞なども受賞しています。

さらに、得たお金で、子どもたちのために「仲良し文庫」を作るなど、数々の地域活動も展開しています。



【おふくろの味 市房漬】

農産物加工品の開発とイノシシ被害対策 ～田浦町田浦B集落～

田浦町では、町内を10ブロックに分け、集落協定の単位として設定しています。その中の田浦B集落では、県の中山間地域等直接支払制度を活用したコミュニティビジネスの取組みが行われています。

※B集落は、田浦3区、4区の区域となっています。



【サービスの内容】

① 農産物加工所「がねさんの館」の建設

田浦町では平成15年9月に道の駅たのうら内の物産館「肥後うらら」がオープンしました。そこで、肥後うららで販売できるような農産物加工品の開発のため、農産物加工所「がねさんの館」が建設されました。

② イノシシ被害防止対策

デコボン等へのイノシシ被害対策のため、集落内農業者の農免許取得の支援を行ったり、箱罾を免許所有者に貸し出したりしています。



【スタッフの声】

がねさんの加工品はとこざろがておさん西いに来おはるそうできたい、だけんはおんたっができたい。だいたい豊産は70部之れはもう産産できもれね、ところがおんたっができたい。お場が段つがりましたけん、第二の人生できもれね。



県外の事例も紹介

元気なZIZI・BABAの生きがいづくり

～足助ハムZIZI工房&ベーカリーバーバラはうす(愛知県)～

足助町の福祉センター「百年草」は、本来の福祉活動のほかに、ホテル、レストラン、ハム工房、パン工房等の営業を兼ね備えた複合施設となっています。

足助ハムZIZI工房とベーカリーバーバラはうすでは、足助の里のZIZI・BABAたちが、生きがいを持ってこだわりのソーセージやパンを作っています。

足助の里のハムづくりの場は工場ではありません。ものをつくる喜びと生きがいを求める新しい仲間たちが集う工房なのです。

県外の事例も紹介

日替わりシェフのコミュニティレストラン ～NPO法人コミレスネット(三重県)～

コミュニティレストラン(略称:コミレス)は、コミュニティビジネスの一つで、飲食店としての機能の他に、地域住民が集うコミュニティセンターとしての役割も担っています。

三重県四日市市のNPO法人コミレスネットでは、本町通り商店街の空き店舗を利用してコミュニティレストラン「こらぼ屋」をオープンさせました。同市内には2号店「ライフ」もあります。

こらぼ屋の特徴は「ワン・デイ・シェフ・システム」です。普通の主婦からプロを目指す方まで、日替わりのシェフが腕をふるいます。家庭料理から多国籍まで、様々な味が日替わりで楽しめると評判で、限定20食のランチは完売の日も多く、商店街の賑わいに貢献しています。こらぼ屋で日替わりシェフを務め、実際に独立開業した方もおられます。

シェフは材料の仕入れ等はすべて自分で行き、売り上げの70%を受け取ることができます。また、店内のインテリアやBGMなどにもシェフのこだわりを出すことが可能です。

また、こらぼ屋にはコーディネーターがいて、シェフのローテーションや地域住民の呼びかけを行い、シェフのサポート役を務めています。

豊かな人生経験で皆さんをサポート ～酒水町シルバー人材センター～

就職は望まないが、何らかの形で働きたい、社会の役に立ちたいという、健康で意欲のある高齢者が会員となって、地域の日常生活に密着した高齢者にふさわしい仕事を引き受け、皆さんを支えています。

【サービスの内容】

① 技能分野

植木の手入れ、修理大工仕事、障子・ふすま・網戸張り替え、和洋裁、書道指導、理髪

② 軽作業分野

除草、消毒、窓ふき、屋内外の清掃、環境整備事務分野、宛名書き、書類伝票の整理

③ サービス・介護の分野

家事手伝い、食事作り、通院付き添い



ちょっとした修理は
わしにまかせなっせ!!

※ 平成16年1月末現在で、11市と58町村にシルバー人材センターが設置され、臨時的・短期的な就業を希望する人のために、就業機会の確保に取り組んでいます。

(2) 地域で子育てサポート

県内においては、つどいの広場やファミリーサポートセンターなど、一部の地域で新たな子育て支援システムが普及しつつあります。

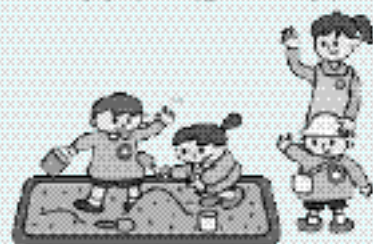
ここでは、子育てに伴う負担や不安を軽減・解消し、家族が「ゆとり」をもって安心して子育てができるよう、地域全体できめ細かに支援している事例を紹介します。

地域ぐるみで子育て支援「こどもセンター」 ～西合志町社協～

子どもが楽しく自由に遊び、子育て中の親をやさしく支援し、いつも笑い声が絶えない、安心して子どもが過ごせる「こどもセンター」が誕生しました。

○わくわくらぶ

子どもも保護者も一緒に、たこあげ、親子スキー、おやつづくりなど、楽しい時間を過ごすことができます。



○児童館

遊戯室や庭で子どもたちが自由に遊ぶことができ、また、イベントや季節に合わせた行事を楽しむことができます。

○キッズクラブ

小学校1～3年生の児童を、放課後や夏休み・冬休み時に預かります。平日は学校までの迎えもします。

○病後児保育「すこやか」

病気回復期にある子どもを預かります。

○ファミリーサポートセンター

地域において、子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）と子育ての手伝いができる人（協力会員）で作られる会員組織で、子育て家族が安心して子育てと仕事の両立ができるよう援助します。

【サービスの内容】

① 子どもを預かります。

- ・保育施設の保育開始まで
- ・保育施設の保育終了後
- ・学童保育終了後
- ・学校の放課後
- ・軽度の病気の場合
- ・冠婚葬祭や子どもの学校行事の際
- ・買い物等外出の際
- ・会員の仕事と育児の両立のために必要なとき

② 保育施設までの送迎を行います。



【子どもセンターでの餅つき】

冒険遊び場「プレーパーク」 ～長嶺校区まちづくりの会(熊本市)～

プレーパークとは、子どもが自分の責任で自由に遊ぶことをモットーにした、いわば「冒険遊び場」のことです。プレーパークには、子どもの好奇心を誘い出すプレーリーダーと呼ばれる大人がいて、子どもたちは安心して遊ぶことができます。

長嶺プレーパークは平成11年開設の、県内で最も活動の長いプレーパークで、長嶺校区まちづくりの会によって運営されています。

年数回のイベントは毎回数十人の親子でにぎわいを見せており、全国的にも注目を集めているプレーパークの一つとなっています。

【スタッフの声】

「高校生を筆頭に、常連の子どもたちが20人くらいに増えました。今後は、彼ら自身がイベントを企画・運営していけるような態勢にしたいですね。」

夏・冬休み子どもデイサービス ～(上天草市社協)～

家族が安心して仕事ができる環境づくりのお手伝いと、ボランティア体験や高齢者との交流を通じて、思いやりや、優しい心を育てることを目的に、子どもデイサービスを実施しています。

【サービスの内容】

対象者 → 夏・冬休み期間中に、両親が共働きのため、昼間子どもだけになる小学校1～3年生の児童

利用料 → 夏休み期間中 5,000円(8:30～16:30)

冬休み期間中 1,500円(8:30～16:30)

(活動例)

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 8:30～10:00 | 学習時間 |
| 10:00～12:00 | 福祉活動体験、野外活動等 |
| 12:00～13:00 | 昼食(弁当持参又は注文400円) |
| 13:00～16:00 | 手芸、スポーツ、福祉施設研修、交流、社会見学等 |
| 16:00～16:30 | 清掃・帰りの会 |



※ 社協主催の子育てサロンが、8市町村で実施されています。

親と子と自然のコラボレーション ～水俣市社協久木野っ子クラブ～

水俣市社協では、子育てしている保護者自身が、自然の中で遊んだり、地域で活動することが少なくなっており、子どもだけではなく保護者を含めて、楽しい企画を催し、子育てを楽しもうと取り組んでいます。

クラブは、水俣市の山間部にあり緑豊かな久木野地区を中心とし、中学生以下の子どもと保護者を対象に開催しています。

内容は、大豆パーティーやお魚パーティ、リグラスアート（瓶を細かく砕いたガラスカレットを使って砂絵風の絵を描く）、クリスマス会など、山間部にある地理特性やそれぞれの時期に応じた企画がなされ、参加者の好評を得ています。

利用料 → 100円



夏休みのふれあい学童クラブ ～水俣市社協ふれあい学童クラブ～

水俣市社協では、夏休みなどの長期休暇中、昼間保護者が仕事等でいない家庭の児童を対象に、遊びを主とする活動を行い、保護者を支援するふれあい学童クラブに取り組んでいます。

【サービスの内容】

散歩、プール、料理教室など

利用日 → 夏休みなどの長期休校の平日

利用時間 → 保護者と指導員による協議で決定（概ね8:00～18:00）

利用料 → 保護者と指導員による協議で決定（約10,000円）



【利用者の声】

- ・「色々な行事が盛りだくさんで、子どもも喜んでいました。」
- ・「家庭ではできない体験をして、生き生きと話す子どもの話を聞くのが楽しみでした。」
- ・「違う学年の子とふれあうことで、たくましさや優しさを身につけたように思います。」



地域における子育て支援の広がり ～植木町社協、植木町民生委員・児童委員協議会～

夏休み期間における留守家庭の子供の一時預かりの活動をきっかけに、民生委員児童委員協議会が、社協主催の夏休み期間の学童保育を全面的に支援しています。

教職経験者による学習指導、野外活動やちびっ子料理教室、福祉施設訪問等の活動を民生委員・児童委員全員が協力して実施しています。

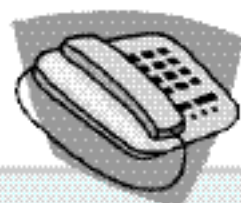
また、活動範囲は管内校区全域に広がり、各校区公民館や小学校等で行われています。



【夏休み学童保育 野外活動の風景】



【夏休み学童保育 料理教室】



子どもがかける子どものための相談 ～おおづ子どもサポネット(大津町)～

「親しい友人だから言えない、家族だから言えないという悩みもあるはず。子どもたちの声に耳を傾け、信じてあげることで、自信を持って一歩を踏み出せるようになってくれたら。」という気持ちで、子どもの悩みなどを電話で受け付けるサービスを実施しています。

毎週木、金、土曜日の午後3時から6時までが受付時間で、教師や医者、不登校の子を育てた経験のある人などがスタッフとなって電話を待っています。

サポネットの大原則は、「秘密を守る、名前を聞かない、子どもが途中で切っても良い。」です。担当者だけでは解決が難しい場合は、その分野に詳しい相談員を交えてケース検討会を開き、解決法を見いだす努力を続けています。

各分野の専門家が揃っており、専門的な相談から、横断的な相談にも対応でき、障害者にとっては、大変利便性の高い相談窓口であり、障害者の自立につながる支援を行っています。

ホームページや情報掲示板で情報発信

～あまくさ子育て情報発信基地「Voice」(本渡市)～

子育て中の母親が、気軽に集まり交流できる「機会・場」を提供し、地域と交流を図ることによって、子育てを地域全体で応援しています。

街(商店街)のイベント時などに、子どもの遊び場などを提供し、地域の方との交流を図ったり、お母さんたちのための料理教室や子育て講演会なども開催しています。

【サービスの内容】

- ① 子育てに関する情報提供及び交流の場としてホームページの開設
- ② 本渡中央銀座街に子育て情報掲示板を設置
- ③ 本渡中央銀座街「もやい館」にて交流会の開催(月2回予定、10:00～12:00)

病院と連携による子育て支援

～NPO法人チャイルドケアサポートみるく(熊本市)～

子どものいる家族に対して、安心して仕事ができるよう、病中、病後の乳幼児の一時預かりデイサービスを行っています。

【サービスの内容】

① 病中・病後児保育(デイサービス)

近隣3つの病院を協力医院とした

緊急対応のできる保育看護を実施

利用時間 → 7:30～19:00

利用料 → 3,000円/日

(7:30～8:30と17:30～19:00

は、1時間500円が加算されます。)

年間登録料6,000円

② 共働き家族へのトータルケアの推進

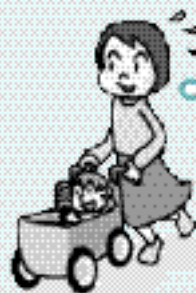
・専門家集団(保育士、医師、看護師等)のトータルケアの立場での情報発信(ホームページ、会報)。

・日常的な育児相談、悩みを一人で抱えている家族へのレスパイトケア。



【問診】

安心して、お仕事に行って来て下さい。



今日も、よろしくお願ひします。

病気回復期の子どもあずかり ～病児保育施設レインホールーム(玉名市)～

玉名市の前田小児科医院では、病気で通院している乳幼児を預かり、ルーム内で看護しながら保育を行います。玉名市が事業主体で、原則として玉名市民が対象となっていますが、広域的にも利用されており、荒尾・玉名地域の2市8町と連携して実施しています。

定員 → 5名

利用料 → 半日1,000円、一日2,000円

平日(8:00～17:30)

土曜(8:00～12:30)*予約のみ

*玉名市福祉課での登録が必要
(保育所でも可)



【レインホールーム】

万全の体制で病後児保育に望みます ～NPO法人夢と希望の架け橋(熊本市)～

NPO法人夢と希望の架け橋が運営する保育園てまりでは、住民のニーズの高い病後児保育を実施しています。

開園時には看護師及び保育士が常駐。てまりに隣接する66平方メートルのスペースを区切り、風疹やインフルエンザなどの感染症専用の部屋を2室確保し、症状が軽い子ども用の保育室やトイレも設置しました。

さらに、小児科医等との緊密な連携で、子どもの状態の変化に万全の体制を取っています。

開園時間 → 月曜日～土曜日 7:00～19:00

利用料金 → 1時間300円から(会員)

1時間500円から(非会員)



訪問ベビーシッターで子育て支援活動 ～子育てサポートはっぴい(益城町)～

「保育サポーター養成講座」を受講した15名が子育てサポートはっぴいを立ち上げ、平成15年1月、青い鳥幼児園内に開設しました。

子育て家族が安心して子育てと家事、仕事ができるよう、時間外の一時預かり、送迎、出張託児、急病時の預かり、訪問ベビーシッター等の子育て支援活動を行っています。

今後、さらに相談事業やネットワークづくり等の活動を目指しています。

利用料金等 → 1時間650円(平日)

1時間850円(土日祝日)



不登校・ひきこもりの子どもの居場所 ～NPO法人子育て談話室(益城町)～

子育てと子どもの健全育成を目的に、子育て相談、不登校・ひきこもりの子どもの居場所づくり等を行っています。

上益城郡内の元教師、民生委員・児童委員、主任児童委員、ボランティアの方々が協力して、子育てに関する悩みや子どもの健全育成に関する相談、子どもの居場所づくりなどの活動を通して、地域における子育て支援のネットワークを構築しています。

【サービスの内容】

- ① 電話、FAX、Eメール、来所、訪問による子育て、子どもの健全育成に関する相談
- ② 活動拠点「ほっとスペース」(益城町公民館2階)での不登校・ひきこもりの子どもの心の居場所づくり
- ③ 子育てに関する集団カウンセリング体験学習会(月例会)の開催
- ④ 会員相互の資質向上のための体験学習会への参加
- ⑤ 地域のネットワークづくり
- ⑥ 関係機関連絡会(学校、幼稚園、保育所、町)

対象者 → 小中学生

利用時間 → 火曜日～金曜日(夏休み等を除く) 10:00～16:00

利用料 → 無料

先生は、人生経験豊富な「おばあちゃん」 ～津奈木保育園(津奈木町)～

津奈木町の津奈木保育園では、人生経験を生かした穏やかな保育ができる保育助手「おばあちゃん先生」を採用し、保育園が目指す「家庭的で明るい・人間性豊か・地域から信頼される保育園」の実現に向け取り組んでいます。

保育助手3名(85歳から88歳の女性)が、月曜から土曜まで勤務し、子どもたちの保育を行っています。

祖父母との同居世帯が少なくなり、高齢者と接する機会がなくなった園児に対し、「おばあちゃん先生」の保育は、温かい保育の実施に結びついています。また、働き場の少ない過疎地における高齢者の雇用対策や生きがい対策という一面も担っています。

おばあちゃん先生の活躍により、「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える子ども、自分のことを自分で出来る子どもに育っています。

はあちゃん
あそびもあそびこ!



(3) 住まいの支援

シルバーハウジングやケア付き住宅、グループホーム、高齢者賃貸住宅など、行政や民間団体による多様な形態の住まいの普及が図られています。ここでは、行政や民間団体・地域住民の支援による高齢者や障害者の住まいの提供の事例を紹介します。

廃校を活用した高齢者の住まい

～清和村在宅介護支援施設「花高原」(運営主体:清和村社協)～

清和村では、同村鶴ヶ田地区の元・朝日西部小学校校舎を改修し、在宅介護支援施設「花高原」として活用しています。

山間部等、地域に目が行き届きにくい地域に住む一人暮らしの高齢者が、自宅での生活が困難になっても、清和村で暮らし続けることができます。

また、学校の総合学習の時間や学童保育でも花高原を利用、子どもたちが、同施設を利用する高齢者や清掃活動に来ている障害者、ボランティアの方々等とも交流し、さまざまな村民とのふれあいの場となっています。

【サービスの内容】

- ① 自立した生活はできるが、自宅での生活が困難な高齢者に対する住まいの提供
- ② 放課後児童クラブの場の提供
- ③ 介護予防事業の生きがい活動通所支援事業



【利用者の声】

うちで一人暮らしはしよった時に比べて、ここはいつでも誰かが近くにあるけん、安ぜどきたい。



【清和村在宅介護支援施設「花高原」】

野菜づくりやペットとの生活を楽しめるグループホーム

～NPO法人あやの里(熊本市)～

熊本市東部の閑静な住宅街の一角にあるグループホームあやの里は、広い敷地でペットを飼い、また茶畑や野菜畑など緑豊かな環境となっており、小学生たち等とのふれあいの場となっています。

いくつもある野菜畑では、利用者が季節に合った野菜を植え、育て、たまには野菜にいたずらもしながら、収穫までを行っています。採れた野菜は毎日の食卓にのぼるほか、収穫祭のイベントも行っており、利用者の楽しみの一つとなっています。

また、茶葉の生産から製茶に至るまで利用者の手によって行っており、あやの里で飲むお茶は自家生産のものとなっています。

敷地の中では犬や猫、鶏などたくさんのペットも飼われており、利用者のアニマルセラビストとして活躍しています。

近くの山ノ内小学校の児童や地域住民との絆も深く、小学生が毎日遊びに来たり、不登校の中学生が高齢者と交流するうちに表情が明るくなっていくなど、世代間の交流も大変盛んです。

あやの里の利用者は、表情も豊かで、毎日の野菜作りや自分の趣味などを楽しんでおり、自分の居室にこもる人はいません。自分の住み慣れた地域から離れることなく、それまでの生活と継続した穏やかな暮らしを送ることができます。



【テラスでのひととき】
前は野菜畑になっています
収穫が楽しみです



【製茶風景】
収穫した茶葉を摘み取り、製茶します

地域に根ざす知的障害者グループホーム

～第二おぐに学園(南小国町、小国町)～

知的障害者更生施設 第二おぐに学園のグループホーム「ひまわり」「悠愛ホーム」「きよらの家」の入居者は、地元の旅館や製材所などで働き、また地域住民として、自治会活動に参加するなど地域生活を楽しんでいます。このような地域住民の温かい支援と理解に対して、年1回「支援者懇談会」を開催し、住民との交流を図っています。



【支援者懇談会の様子】

安心して生活できる居住空間「高齢者向け優良賃貸住宅」

～社会福祉法人不働会(鹿本町)～

鹿本町の高齢者向け優良賃貸住宅ベルメゾン彩花は、食堂を取り囲むように各室が並んでおり、10室と小規模なため、家庭的な雰囲気へのケアが可能となっています。

高齢者の方が安心して住めるよう、バリアフリー化された住まいとなっているのはもちろん、多目的ホールやラウンジなどの共同空間も充実しています。

高齢者向け優良賃貸住宅とは

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」に基づき、60歳以上の方を対象として供給される、国土交通省が定めた整備基準(バリアフリー等)を満たした住宅です。所得に応じて家賃の補助があります。

【対応サービス】

- ・ナースコールの設置
- ・管理人の常駐
- ・緊急時の協力医療機関への連絡・対応



【付加的サービス】

- ・安否確認サービス
- ・生活相談サービス
- ・フロントサービス
- ・食事サービス(有料)
- ・家事援助サービス(同)
- ・介護サービス(同)



【併設施設】

- ・介護施設
- ・デイサービスセンター

【ベルメゾン彩花】

少人数で家庭的な小規模ケアホーム「つばいの家」

～リデルライト記念老人ホーム(熊本市)～

小規模ケアホームつばいの家は、住宅街の民家を活用し、要介護度の比較的低い高齢者数人が介護職員と一緒に生活する、介護保険外の施設です。

これは、施設希望者が増える中、要介護度の低いお年寄りを施設から地域へ帰そうという取組みで、リデルホームの元入所者2人を含む4人の方が生活されています。

つばいの家では、昼間は介護保険のデイサービスに通ったり地域に出かけたり、夜は自分の好きなことをして過ごすことができ、たとえ身体が不自由になっても、地域と切り離されない生活を送ることができます。



【静かな住宅街にある「つばいの家」】

“安心・健康”生活支援ハウス「さわやか荘」

～泉村高齢者生活福祉センターさわやか荘～

生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)とは、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯、家族による援助を受けることが困難な方などで、高齢などのため独立して生活することに不安のある方が、安心して健康な生活を送れるように、介護支援機能、居住機能、交流機能を総合的に提供するところです。

泉村の高齢者生活福祉センターさわやか荘には、在宅福祉に関する相談に応じる相談室やステージを備えた大広間「いこいの家」等があり、7人の入居が可能です。

さわやか荘の中にはデイサービスセンターもあるため、デイ利用者との交流や、地域の子どもたちがデイを訪問した際の交流も行われています。



【高齢者と地域住民の集いの場「さわやか荘」】

地域に開かれたコミュニティ団地 ～岱明町～

岱明町のシルバーハウジング（高齢者世話付き住宅）、古閑高齢者町営住宅団地は、住居内外がバリアフリーとなっているほか、入居者が地域で生活するため様々な工夫がなされています。

具体的には、団地奥側に2階建ての一般住宅30戸、木造平屋のシルバー住宅10戸、地域住民共同の集会場等を中央及び道路沿いに配置し、交流しやすい環境が作られています。

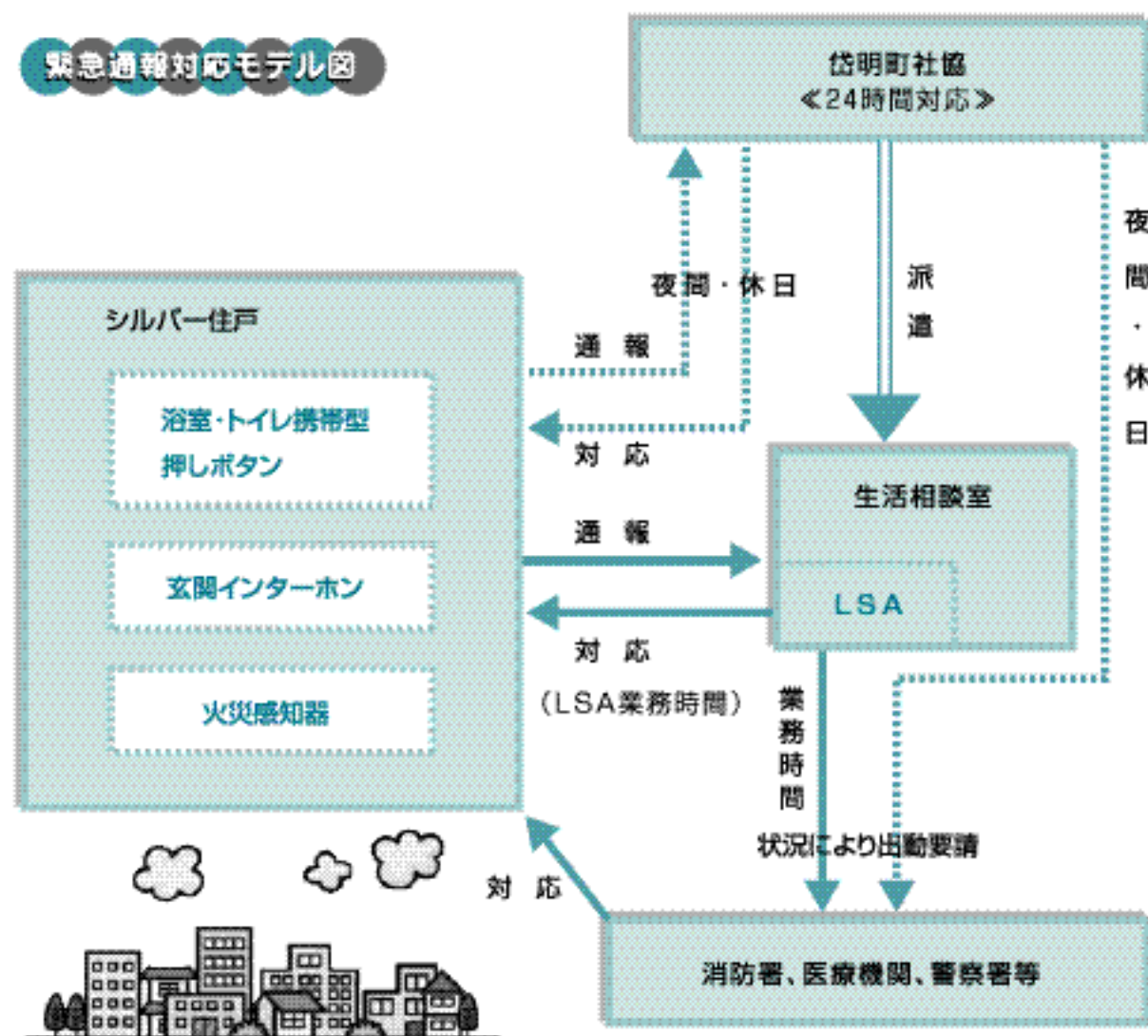
また、LSA（ライフサポートアドバイザー）が団地内・周辺住民とのクラブ活動等の交流をコーディネートしたり、緊急通報対応体制も担うなど、入居者が安心して地域で暮らせる仕組みが整っています。



シルバーハウジングとは

高齢者に配慮した設計の住宅で、安心して生活できるようLSAによるサービスや、緊急通報システムを設置した公営住宅のことです。

緊急通報対応モデル図



だっでん暮らせる住宅「ユニハウス」 ～ユニハウス研究会(菊陽町)～

「家をひとに合わせて造って、ひとが暮らしやすくしよう」という目的のもとに、平成9年にすべての人を対象に安全で使いやすく、わかりやすいデザインを随所に取り入れたモデルハウスが、富合町(にしくまもと病院横)に完成しました。

お風呂・キッチン・トイレ等を実際に利用して、自分にとって快適かどうか体感でき、希望すれば体験宿泊もできます。

また、住まいの専門家とリハビリの専門家が協力して、次のことを行います。

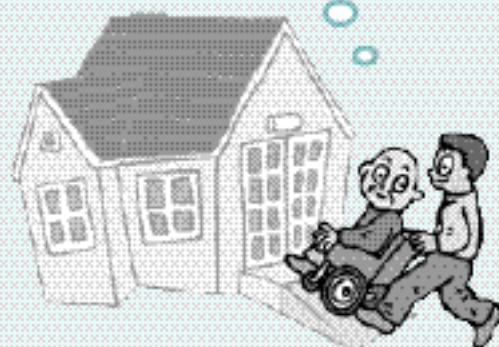
【サービスの内容】

- ① 介護機器等の紹介
- ② 日常生活動作・介護方法の指導
- ③ 福祉サービスなどの案内
- ④ 家屋調査・改造の提供



【実際に生活体験できる「ユニハウス」】

こらあ、よが寝たい
ひとりでんべ配いらんはい。



(4) 外出支援サービス

県内では、38の市町村で外出支援サービスが実施(H15.12.1)され、また、社協、NPOなど様々な団体による色々な移送サービスやその他の外出支援も実施されています。

ここでは、市町村や各種民間団体による移送サービス、その他の外出支援サービス等を紹介します。

リフトバスでらくらく福祉サービス利用 ~水俣市社協~

「一人でタクシーやバスや自家用車の乗り降りができない。」「通院したいが、交通手段がない。(歩行が困難で)」「申いすや寝たきりで、入退院が困難である。」と、このような悩みがありませんか。そのような時、専用のリフトバスでご自宅のお部屋と目的地の間を移送します。

対象となるのは常時介護を必要とする65歳以上の高齢者や障害者手帳1,2級所持者のほか、市長が事業の利用を特に必要と認めた方です。平成14年度の実績は246件。平成15年度は1月末で既に277件となっています。

車椅子や寝たきりなどの交通手段の確保が、困難な方が通院や入退院する時及びショートステイなどの在宅サービスを受ける際の心強い味方となっています。

【サービスの内容】

利用目的 → ①在宅福祉サービスの利用

②福祉施設等の入・退所

③医療機関への通院、入・退院

④公共団体、社会福祉団体等が主催する事業及び会議への参加

対象者 → ○身体が虚弱で寝たきりの状態にあるため、常時の介護を必要とされるおおよね65歳以上の方

○身体障害者手帳1級又は2級所持者で著しく歩行が困難な方

利用時間等 → ○運行範囲…水俣市内及び隣接市町

○運行日時…平日(9:00~16:00)まで

○利用料…1回片道500円



【リフトバス】

お足元にお気をつけください。

バスがうちまで来てくるっけん、そーじゃ助かるもれな〜。



ケアプランに添った外出支援 ～菊水町社協～

菊水町社協では、高齢者や障害者が自ら交通手段を持たず、また一般の交通機関の利用も困難な場合に、付き添いや交通手段の提供など、外出行動のサポートを行って自立生活の継続を支援しています。

利用者は役場に利用申込みをし、審査を経て利用決定され、ケアプランに従ってサービスが提供されます。

【サービスの内容】

利用目的 → 通院、薬受け取り、預貯金の手続き

対象者 → 菊水町在住で、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、なんらかの障害を持っている方で事業目的に該当する方。

利用時間等 → ○運行範囲…菊水町内及び町外(玉名市・山鹿市まで)

○運行日時…月曜日～金曜日(緊急時土日対応) 8:30～15:00

○利用料…町内150円、町外300円

※30分以上60分未満の方は延長料が発生します

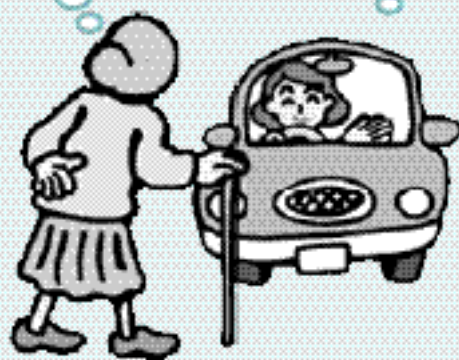
やさしい運転で通院らくらく ～菊陽町社協～

一般の交通機関を利用するのが困難な高齢者や重度身体障害者の方に対して、ヘルパー資格をもつ運転手(やさしいと評判です)が一般車両やリフト車を使って自宅と医療機関等との間を送迎する外出支援サービス事業を実施しています。利用範囲は、役場を起点に10km以内で利用料金1回500円です。

利用者のニーズにより、ベッドから車椅子への介助、受付のお手伝いなど、きめ細かな支援がもっとで、緊急時の病気にもできるだけ対応しています。

待ちました。
よろしくお願いします。

お待たせしましたね。



【リフト車】

友人と一緒に福祉バス「ふれあいバス・しあわせ号」

～有明町(委託先:「天草城観光」)～

高齢者や障害者が気軽に町に出かけられるように、福祉バスを運行。29人乗りのバス6台が、町内6路線系39停留所を1日1往復しています。

集会所や商店街を通り、終点はいずれも地元の温泉センター「さざ波の湯」。安全な場所なら乗客の好きな地点でバスを止め、乗り降りでき、乗り降りの困難な乗客には運転手の介添えサービスがあります。一般利用も可能で料金は片道一律100円(小学生50円)です。

今日は、どこに行きなほるでしょうか?



【ふれあいバスしあわせ号】

どこでん乗り降り自由!福祉バス ～球磨村～

福祉バスは、JRや路線バスなど公共交通機関が利用できない地域の高齢者や障害者等の交通弱者の足を確保する福祉対策事業として、専用の29人乗りマイクロバスを導入し、平成15年4月から運行を開始しました。

また、平成15年11月には、人吉市から芦北町へ向かう産交バスの路線(佐敷線)が廃止されたため、平成16年1月から1路線追加しています。

【サービスの内容】

運行日時 → 月曜日から金曜日まで、日替わりで5路線

午前と午後各2便ずつで、1日に4便運行

※バス停はなく、運行路線であれば乗り降り自由

運 賃 → 1回の利用料は200円、中学生以下は無料

11枚綴り2,000円の回数券も、村役場住民課窓口等で発行

玉名市福祉特区有償運送（ボランティア輸送）

～NPO法人地域たすけあいの会（玉名市）～

玉名市では、要介護者や障害者など公共交通機関の利用が困難な方が安心して移動できるよう、福祉特区としての有償運送事業を行っています。

車いす対応の10人乗りリフト付ワゴン車とスロープ付軽乗用車で、玉名市を起点として輸送を行っています。特に利用目的の制限はありません。

利用する際は申込書に記入し、アセスメント（評価）を実施して会員登録します。1か月前くらいに利用申込みをし、目的地、日時、同乗者等（1人まで）を連絡する仕組みとなっています。

【サービス内容】

対象者 → 介護保険の要介護度3～5の認定を受けている者、障害者手帳を持ち
一定の要件を満たす方等で会員登録した方

利用時間等 → ○運行日時 → 年中無休9:00～17:00

○利用料 → リフト付ワゴン車 220円/5分

スロープ付軽乗用車 140円/5分

※ 運転手は原則としてヘルパーの有資格者

※玉名市福祉特区の概要

福祉関係特区制度等を利用して、NPOによるボランティア輸送としての有償運送が行われております。

NPO法人や社会福祉法人等が、身体障害者や要介護高齢者等について、セダン型等の一般の車両による有償運送を行う場合、道路運送法第80条第1項に定める国土交通大臣の許可を速やかに受けることを可能とします。

なお、従来特区に限り認められていたリスト・寝台等の特殊な設備を設けた自家用自動車による有償運送化事業については、平成16年度以降、特区以外での実施も可能です。

これで頻繁に外に出られる
さつなつたはい。



ふれあいプラザ利用者(高齢者)の無料送迎 ～七城町社協～

七城町社協では、温泉施設「ふれあいプラザ」の町内居宅高齢者による利用の利便性向上と施設を利用した町内の交流事業の促進を目的として、高齢者のふれあいプラザ無料送迎を行っています。

町内をマイクロバスにて巡回します。車椅子利用者の使用も考え、バス内にはステップが用意しており、専属の運転手が介助を行うことで、バスの乗車を手助けします。

利用者は温泉入浴を楽しみ、昼食をとったりして他の利用者との懇親を深めています。また、社協の中で開催しているカラオケ教室の受講生の増加にもつながり、ふれあいプラザが交流の場所として定着してきています。

バスが入れない様な狭い場所であっても、別途乗用車での送迎を行い、利用者の声に応えています。

特に、ふれあいプラザが七城町の北側にあるため、以前は遠方の方にとって利用しづらかったのですが、この送迎サービスにより移動手段がなかった方の利便性も向上し、地域での福祉に貢献しています。

利用時間 → 10:00～16:00



【利用者の声】

うちはふれあいプラザが遠かったけん、行きにくかったぼってん、社協が送迎してやらあけん、たいざや助がっかります。

※なお、鹿北町の「ゆ〜かむ」や、鹿本町の「水辺プラザ」、中央町の「湯の香苑」等で、同様の取り組みが行われています。

商店街で買い物らくらく ～健軍商店街(熊本市)～

買い物の購入品をタクシー会社が宅配する「らくらく買い物システム」が高齢者に大人気となっています。

商店街の空き店舗を使って宅配サービスを1回300円で受け付けるほか、購入品を一時預かり、タクシーの乗車希望を受け付け、宅配料金のうち100円を補助しています。

平成14年度に市の助成で始まり、平成15年3月から商店街が費用の一部を補助していましたが、利用件数が年間11,000件を超え(宅配:約730件、タクシーの乗車:約10,300件)商店街の負担が膨らみ、事業存続が難しくなったところを平成16年4月から(有)肥後タクシーが引き継いで実施しています。

タクシーを待つ間、荷物運びや受付を担当する人と会話が弾み、一人暮らしの高齢者には何よりの楽しみとなっています。



【健軍商店街内にある「らくらくステーション」】

介護タクシー会社「青空在宅サービス」

～個人タクシー経営者11人の協同出資会社(有)青空在宅サービス(熊本市)～

要介護者のケアプランに基づき、ケアマネージャーからの依頼を受けて事前に利用者宅を訪問して、病状や介助する際の注意点を聴取し、利用者一人ひとりに「カルテ」を作成して、細やかな対応に気を配っています。

顧客はH13.12月の90名から右肩上がりに500名を超えており、車椅子専用車など14台の車両は、連日フル稼働の状況です。

タクシー業界の福祉サービス ～(有)肥後タクシー(熊本市)～

ヘルパー2級資格を持つドライバー約10人を養成。高齢者や障害者の病院通院や買い物などの外出支援を行っています。

肥後タクシーは、この他にも、RV車を改造した日本初の小型ユニバーサルデザインタクシー(平成15年11月に第2回バリアフリー化推進功労者表彰において、内閣官房長官表彰を受賞)や、GPS(衛星測位システム)機能付き携帯電話を活用した徘徊高齢者や迷子等の元への駆けつけシステムを導入するなど、障害者や高齢者の外出を積極的に支援しています。



【UDタクシー】

介護福祉機器「チェアリーバ」の開発 ～(株)南星(泗水町)～

「チェアリーバ」は車両の助手席も兼ねた車椅子で、車椅子のまま車両の助手席に乗車でき、介護者の負担を軽減することができます。

従来の欧米の製品は大型車のみに取り付け可能であり、車種も限定されていました。チェアリーバは、車種を選ばず軽自動車への取り付けも可能であり、自家用車を買い換えることなく取り付けることができます。

このことにより介助を要する障害者や高齢者が車に乗降する際の介助者の負担が大幅に軽減され、ひいては高齢者や障害者の積極的な社会参加に役立っています。

この取組みは、第6回くまもと・やさしいまちづくり表彰(平成15年1月)を受賞しました。

地域住民の健康保持のための「足」 ～五木村～

平成13年度から、診療所までの通院で使用するタクシー料金の半額を村が助成しています。村内にタクシー会社がないため、人吉市内の会社から1台のタクシーを村民の専用として村内に常駐させています。利用状況も好調で、月に約50回の利用が 있습니다。

五木村は、集落が山間部に広域に渡っています。村内唯一の診療所に、必要に応じて受診できる体制を整備することで、高齢者が気軽に診療所を利用できるとともに、高齢者の健康状態の把握が容易になっています。

旅行に出かけよう！ ～NPO法人正心会(不知火町)～

高齢化が進む宇城地区内の住民に対して、高齢者・障害者等誰でも手軽に参加できるよう花見、お宮参りなどの小旅行を実施しています。

その他、昼食サービスや入浴サービス等も行っています。

【サービスの内容】

- ①県内小旅行
- ②高齢者、障害児者の預かり介護
- ③福祉制度や在宅介護について
学習・相談会の実施



街かど車いすウォッチングin宇土 ～環境・共生ネットワーク宇土(宇土市)～

「環境と福祉の視点で、健常者もハンディキャップがある人も、健康で安全な暮らしを考える市民参加のまちづくり」をテーマに活動を行っています。

一人の障害者の親の、宇土市街を障害者の視点で検証したいという発言が活動のきっかけとなり、「車椅子探検隊」と称して、利用者・生活者の視点から駅や障害者住宅のバリアフリーを検証されています。

- 第1回 街かど探検
小学生から70歳代と幅広い年代の方が、宇土市役所を中心に実施。
- 第2回 交通探検
JR、路線バスに乗り、宇土駅周辺・熊本駅のバリアフリーを検証。
- 第3回 集合住宅探検
市営住宅の障害者住宅を検証。

